

9月12日(土曜日)「真の幸福の教え(8)」

【新改訳 2017】

ルカ 6.22、23

「人の子のため、人々があなたがたを憎むとき、あなたがたを除名し、辱め、あなたがたの名をあしざまにけなすとき、あなたがたは幸いです。その日には喜びなさい、おどり上がって喜びなさい。天では……報いは大きいから。……」

マタイでは、「義のために迫害されている者は幸いです。天の御国はその人たちのものだから」(5.10)と記してから、上と似たことばが続けられています。内容的には一つと思われます。

あなたは迫害されたり憎まれたりしても、主イエス・キリストを信じ続けるでしょうか。この聖句は一つの試金石です。ここで、自分が求めているものは自分中心のご利益か、人生の真の幸福かが問われるからです。

異教の国で、神の御子イエス・キリストを救い主、神と信じることは、誤解、中傷、迫害などを避けられません。しかし、それでも喜ぶのです。天国が報いとして得られるから

です。中国では、迫害の中でも信仰者が次々と増えてい  
るそうです。

～祈り～

主よ。あなたの御名のために迫害されても、憎まれたり、辱め  
られたりしても、それに耐え、かえって、使徒たちのように喜ぶ  
ことさえできるように、信仰を強くしてください。

**【学びのために】**

使徒 5.41、42 参照。